事 業 報 告 書

1 支援団体名	NPO 法人　大淀川流域ネットワーク
2 事業名称	大淀川の子ども自然体験合宿
3 実施日時	平成 28 年 7 月 23 日～24 日
4 実施場所	綾町合宿センター及び綾北川
5 事業目的、内容及びその効果	（事業実施状況・内容） 大淀川流域の子どもを対象として、1 泊 2 日の日程で自然体験合宿を行い、水の循環やダムの役割の学習、川での安全教室、ミニ地球づくり、五感による環境調査などを通して、水の循環や川と人との関わり、川とダムの大切さ・素晴らしさに気付くことの重要性を学習し、次世代の地域づくりの先駆者を育成した。なお、全ての活動では、レスキュー3・RAC資格を有する自然体験指導者や水辺安全講習会を受講した地元の大学生をスタッフとして配置し連携して活動した。 7 月 10 日　事前説明会 7 月 23 日　開会式・オリエンテーション・ネイチャーゲーム・水辺の安全教室・五感による水辺調査・川流れ・レインスティックづくり 7 月 24 日　水の循環・川と人の関わり学習・綾第二発電所見学・自然観察とミニ地球づくり・閉会式
	（事業実施効果） 合宿の実施前に、参加者とその保護者を集めて、合宿の趣旨と参加の準備品などについての説明会を開催した。合宿では、大淀川流域の次世代を担う子ども達に水の循環やダム等の利水施設の役割、川と人との関わり、川の大切さ・素晴らしさを正しく理解してもらうよう工夫した。これらにより、ダムの大切さを理解し、川と人との関わりを意識する地域づくりに貢献できた。また、川の指導者や地元の学生をスタッフとして配置することにより、地域と連携した活動ができた。
6 参加内訳	総人数　29　名
	（1）主催者参加　9　名
	（2）日本人参加（（1）を除く）　20　名
	（3）外国人参加（（1）を除く）　名
7 今後の方針	水の循環やダム等の利水施設の役割、川と人との関わり、川の大切さ・素晴らしさについて正しく理解してもらうための学習・体験の場を提供することの必要性を強く感じたため、今後も川での学習・体験の場をより多く提供することに努め、次年度も自然体験合宿を継続して実施していく。なお、次年度も地元学生の協力の内諾は得られている。

オリエンテーション

川流れ

水辺の安全講習会

レインスティックづくり

ミニ地球づくり

綾第二発電所見学